



内閣府

2019 年度「世界青年の船」事業の概要

内閣府青年国際交流担当室

1. 目的

現在、あらゆる分野で国境を越えた協力・調整・交渉が不可欠となっており、その対応を牽引・指導する次世代リーダーが求められている。

こうした観点から、「世界青年の船」事業は、世界各地から集まり多様なバックグラウンドを持つ参加青年が、ディスカッションや文化交流、参加青年主体のワークショップ等を通して、異文化対応力、コミュニケーション力、リーダーシップ、マネジメント力の向上を図ることにより、国際化の進展する各分野でリーダーシップを発揮して社会貢献を行うことができる青年を育成するとともに、国境を越えた強い人的ネットワークの構築を図ることを目的とする。

また、オリンピック・パラリンピック競技大会を目前に控えた機会を捉え、「レガシー」を研修の題材とし、東京大会以前の開催諸国等から青年を招へいすることにより、研修内容の充実と我が国との関係強化に資することを併せて目指すものとする。

2. 事業内容

日本と世界の 10 か国の青年が、6 日間の陸上研修及び 34 日間の船上研修（寄港地活動を含む。）に参加し、ディスカッションやセミナーなどの各種の研修や交流活動を行う。

(1) 陸上・船上研修

ディスカッション、セミナー、ナショナル・プレゼンテーション（各国事情紹介）、文化紹介活動、スポーツ& レクリエーション、グループ活動、自主活動など

(2) 寄港地活動

表敬訪問、各種施設の視察、訪問国の青少年との交流など

3. 参加国

バーレーン王国、ブラジル連邦共和国、エジプト共和国、フランス共和国、英国、ケニア共和国、メキシコ合衆国、ニュージーランド、ペルー共和国、スリランカ民主社会主義共和国及び日本

4. 構成

(1) 管理部員等（管理官（1名）、副管理官（1名）を含む）

(2) 本事業支援業務請負業者（心理カウンセラーを含む）

(3) 日本参加青年 122 名、外国参加青年 120 名（10 カ国×12 名）

（参加青年数には、各国代表団のナショナル・リーダーを含む。）

5. 日程

- | | |
|-------------------|---|
| (1) 外国青年来日 | 2020 年 1 月 10 日（金） |
| (2) 陸上研修等 | 1 月 11 日（土）～14 日（火）/2 月 18 日（火）～20 日（木） |
| (3) 船上研修（寄港地活動含む） | 1 月 15 日（水）～2 月 17 日（月） |
| ※寄港地：ハワイ諸島（補給） | 1 月 24（金） 2 月 7 日（金）、メキシコ合衆国西海岸（エンセナーダ） |
| (4) 外国参加青年地方プログラム | 1 月 30 日（木）～2 月 1 日（土） |
| (5) 日本参加青年帰国後研修 | 2 月 21 日（金）～24 日（月） |
| | 2 月 21 日（金）～22 日（土） |

【航路図】

